

平成27年度第1回福岡市食育推進計画検討部会 議事録

1. 開催日時 平成27年10月1日(木) 15:00～16:30
2. 開催場所 エルガーラホール7階 会議室1
3. 会議次第

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 開会(2) 健康医療部長挨拶(3) 委員紹介(4) 議事<ul style="list-style-type: none">・ 部会長・副部会長の選任について・ 第2次福岡市食育推進計画の評価について(資料①を用い説明)・ 第3次福岡市食育推進計画構成案について(資料②, ③を用い説明)(5) 閉会 |
|--|

4. 出席委員 12名
欠席委員 1名
5. 報道機関取材者及び傍聴者
報道機関：無 傍聴者：無
6. 議事内容

事務局	【議題：部会長・副部会長の選任について】
事務局	【議題：第2次福岡市食育推進計画の評価について】
委員	朝食の概念について、飲み物や果物だけでも朝食を食べたことにしているのか。
事務局	何を朝食とするのか、世代ごとでとらえ方に違いがあり、その統一については国でも言われている。国の食育推進計画にある朝食に関する指標の調

	<p>査では、果物・ヨーグルトのみは朝食ととらえないという方向になっているが、それでは厳しすぎるという意見が出ており、今後見直しがあるのではないかと考えている。小・中学校については、実際に何を食べたかを見ての調査をしていたと思うが、アンケート形式で回答するものに関しては、どのようなものを食べたら朝食になるのか注意書きをしての調査が必要ではないかと考えている。</p>
委員	<p>朝食の基準が曖昧だと数値が正確にならない。国の基準は確かに厳しいかもしれないので、市独自である程度基準を絞った方が良いのではないかと。</p>
委員	<p>若い世代や共働き世帯の対応についても課題。 食育の実践とはどのようなことを言っているのか。</p>
事務局	<p>食育の実践についての問いでは、食育で検討が必要な分野についての記述があり、そこで「あなたは何か実践しているか」という問いの仕方をしてきたが、回答する際に「朝食は食べているが、他のことはしていない」となると、実践していると答えられない方もいるのではないかとということで、会議の中でも話があっている。ただ単に「実践しているか」という聞き方ではなく、具体的にどのようなことをしているか。総合的に食育を実践している方がどのくらいいるか。まずは関心を持っているかの数値を追いかけて行く形でもいいのではないかと考えている。</p>
委員	<p>今の子どもたちは、親が食事を用意してくれない、いつも遅くまで寝ているなど、非常にかわいそうな社会にある。両親とも非常に忙しく、早出等で「早く起きて学校に行きなさい」と言われても、だんだん起きる時間が遅くなり不登校になっていくことも学校から聞いたことがある。こういう世の中、社会をどう正しいものにしていくかも、今後の大きな課題ではないかと考えている。この朝食100%は理想だが、そういったものから取り組む必要がある。根本的に何かを変えていかないと、100%目標と言うのが大きなものになる。昔みたいに親子が近くでご飯を食べながら食卓をかこむという家庭がどれくらいあるか。80%で頑張っている成果だと思うと書いてありますが、これは出来すぎではないかと個人的には思っている。</p>
委員	<p>学校給食の水産物が1品目だが、これは1年に1品目なのか。市内産農水産物利用割合（重量ベース）は年間の重量ベースで1割なのか。</p>
事務局	<p>現在、塩わかめを使用しているので、年間で1品目となっている。</p>

委員	安定的に供給できるものが少なく、わかめは安定的に供給できるので使用している。
委員	アンケート自体の数字があてにならないこともあるようで、設問の仕方によっては、正確な数字ではないように思うので、もう少し設問の仕方を考える必要がある。米は、年間重量ベースで行っているのだから、参考になると思う。
委員	小・中学生の毎日朝食を食べる割合が89・84%は信じられない。我々が調査すると6割・7割しか出てこないし、我々の目標は100%ではない。資料のように「食欲がない」「食べる時間がない」のがほとんどで、理由は「保護者・親が食べないから」やはりそこは保護者の基本的な生活習慣を身に付ける。ということで、保護者への家庭の教育向上というかたちで取り組みを行っている。資料の数字は、お水を1杯飲んだだけでも摂ったことになるような数値ではないかと正直思っている。現状は、貧困の問題や保護者が食事を用意してくれない、あるいはお金があるのに給食費を払わないという規範意識の低下。そういったところを啓発しているが、それでも出てくる結果は6割・7割というのが私の認識で、これはアンケートの取り方によって全然違うことを実感している。
委員	保育園の小さいクラスでは「夜何を食べたか」「朝何を食べたか」を書いてくるが、ヨーグルト1個やお菓子の名前を書いてくるお母さんも平気である。かといって、ごはんと書いている人の中には、本当は食べていないという人もいる。きちんと親子で朝食を摂るのが一番。時間が無いからおにぎりを包んで自転車の後ろで食べさせながら来ている方もいるが、これはまだいい方だと思う。全然食べてない子やお菓子をご飯と言って食べている子もいる。かといって、職員がきちんと朝食を摂っているかと言ったら摂っていない。自分たちが指導する立場だが、なかなか摂っていないのが現状。
委員	薬膳では「朝は排泄の時間だから食べる必要はない」という考えや、人間も動物なので「腹が減っていなければ食べなくていい」という考えもある。日本人は1日3食が基本の食生活だが、朝食を食べることができる環境の人は食べた方がいい。私は無理強いする必要はないと思う。
委員	実際学生を見ていても、BMI 25以上はほとんどいない。18や17.5くらい。若い人はファッションにすごく気を配っており、栄養士会すら

	<p>若い人はやせている。食生活についての調査では、朝がヨーグルトとチョコレート、お昼は学食、夜は居酒屋のまかないという生徒もいる。4年生になると、バランスよくというのが頭に入ってくるが、最初の頃は食べていないことが非常に多く、特に若い子は、食べる時は食べるが、食べないときは全く食べない。女性は妊娠・出産を考えると、摂らないといけないと常々言っているが、やはりファッションに目が行くので、そういうところが怖い。ただ、若い世代の調査方法で、20代のどこにターゲットをもっていくかが難しい。国民健康栄養調査や国勢調査でも、インターホンを押しても開けてくれない。国民健康栄養調査でも昨年大牟田で3か所行ったが、なかなか協力いただけず、件数がとれないというのが現状。</p>
事務局	<p>【議題：第3次食育推進計画構成案について】</p>
委員	<p>高齢者だけは特別に取り出していただきたい。低栄養で病院に来られたり、その間際の方がどうしても出てくる。一生懸命バランスよくしても、いつの間にか低栄養になっているという方もいる。福岡市の高齢者は20数%なので、高齢者のところを少し違う視点で見えていただくと、食育という言葉とは少しニュアンスが違ってくると思う。もう少し突っ込んだところで高齢者というのを入れると高齢者もわかりやすい。健康寿命の延伸はここが一番大事だと思うので、検討していただけたらいいのではないかなと思う。</p>
委員	<p>計画の目標テーマの、「食を通じた健康づくり」「地産地消・食を通じた活性化」「食文化を継承し食を楽しむ」とあるが、これは目標なのか。</p>
事務局	<p>計画のテーマとしてあげている。</p>
委員	<p>地産地消・食を通じた活性化というのは、何を活性化するのか。</p>
事務局	<p>2次計画の「生産者と消費者との交流」や「農林漁業の活性化」の部分にそこに入れようと考えている。</p>
委員	<p>重点課題は今から決めていくということか。</p>
事務局	<p>2次計画で未達成の項目や若い世代・高齢者についてわかりやすくした方がいいのではないかなど色々あると思う。</p>
委員	<p>目指すべき姿というのは、ひとつの重点課題になってくるのか。</p>

事務局	2次計画から、もっと力を入れた方がいいこととかあれば。
委員	ライフステージも重点課題があるのではないか。保護者への指導や若い世代のやせ、中高年の太り過ぎ、高齢者の低栄養など、各ステージで重要なポイントがある。ライフステージに応じた重点課題を作ることも必要ではないか。また、あまり多くのことを羅列しても実際できないこともある。はっきり言って「早寝・早起き・朝ごはん」のひとつでもいいのではないかと思っている。
委員	講義をするときに、いつも言うのは咀嚼。咀嚼がどれだけ大事かということを進めている。
委員	咀嚼は大切だが、アンケートの「ゆっくりよく噛んで食べる国民を増やす」という項目が「ゆっくり噛んで食べている」「どちらかと言えばゆっくり噛んで食べている」と抽象的。昨年度までは1口30回と言う目標があったが、今回外れているので、これでアンケートをとって、こういったデータになるのか心配。
委員	例えばデパ地下の試食は、1・2回で美味しいと思わせないといけないので、それだけやわらかいもの・味の濃いものを売っている。
委員	8020運動は、乳歯が20本で、80歳で義歯でも同じ20本あればだいたい噛めるということで、平成元年から行っている。
委員	高齢者が増えているので、何か対応を入れると、認知症予防や健康寿命にも結びつくのではないか。今まで、子どもや若い方中心だったが、高齢者も含めて計画の中に入れると、少しは変わるのではないかと思う。
委員	高齢者・骨粗鬆症・寝たきりというのはある程度パターンが決まっているだろうから、骨折・入院というのが起こらない食生活をどうしていくのか等、ライフステージごとの強化は必要。
委員	計画の目標テーマ、地産地消・食を通じた活性化について、農林漁業の活性化という分野は、馴染まないような気がする。市の農林水産振興審議会でも、福岡市の米の収穫量は2千トンで4万人分、色んな食料関係にしても3.5%という数字が出ている。福岡県で見ると米の収穫量は20万トンで県民に丁度いきわたる。地産地消と言う言葉も良いかもしれないが、福岡

	<p>市で考えた場合、市内産農産物はほとんど市内で消費されている。食育が「健康な体をつくる」あるいは「元気で長寿な方々を増やす」ということを求めているのであれば、馴染まないと思う。</p>
委員	<p>食や命の大切さを実感していくという意味であげているのではないかと思う。</p>
委員	<p>それはありがたいと思っている。食料の大切さは教えていかななくてはならない分野だと思っている。</p>
委員	<p>数量的にみると福岡市の食料自給率が低いのは仕方がないが、わずかながらといえども生産はあるので、それを見て季節を感じる、食料の大切さを知るという意味で配慮していただいていると思う。</p>
委員	<p>農林水産業の活性化と食育は、私もなじまないのではないかと思う。ただ、出来上がるまでの過程や獲れる過程で食物の大切さを学ぶというのは食育になると思っている。</p>
委員	<p>買い物に行った時に、福岡市内の生産地が書いてあると、身近でもできていることがわかる。何も書いていないと、福岡市では何もとれていない・他県で生産された物を食べていると認識している方は多いのではないかと感じるので、地産地消を入れていただきたい。</p> <p>食文化については、様々な食べ物が豊富になり、福岡の郷土料理を知らない若い方が多くなっているのので、これもしっかり入れておかないと、受け継がれていかないのではないかと思っている。</p>
委員	<p>子どもたちに、学校に来て何が楽しみか聞くと、給食と言うのが一番多い。やはり、食を楽しむということを教えていくのも大事なことです。子どもたちに、昔の人が食文化をつないでいく。そしてどういった意味があるのかというのを教えて行ってもらいたい。</p>
委員	<p>農林漁業の活性化や食を楽しむ問題は、消費者の方から随分ラブコールをいただいているので、JAさんやJFさんには頑張ってください。</p>
委員	<p>目標について、確かに朝食100%がいいかどうか。というのはあるが、80%、90%がいいかとなるとわからない。</p>
委員	<p>アンケートの答えと実態が、かい離しているような気がする。やはり食事</p>

<p>委員</p>	<p>の内容について調べていく必要がある。まず何か食べることを、次に食事のバランスを考えましょうというのが必要ではないか。やはり、バランスよく食事をするのが基本なので、なぜ食べたくないか。食べたくない理由が夜更かし等の場合は、やはり改善すべき。もともと個人差があつて、決して食事の量の問題ではない。</p> <p>歯の問題が出ましたが、お菓子や間食で虫歯がある幼児もいる。これも食事のバランスの問題だと思うが、そういったことも盛り込んで指導・啓発していかななくてはいけない。たぶん歯医者さんも、そういった実態を見られている。ミルクの代わりにスポーツドリンクを飲ませて歯が溶けたという話を聞いたことがある。普通ではありえない事も実態としてあるということなので、朝食の内容について尋ねてみたい。</p> <p>地産地消・食を通じた活性化の部分を、よい食を通じたよい心・体づくりとかに変えてはどうか。医学的な観点からも食の大切さというのをちゃんと示していただきたい。</p>
-----------	--